

2005(平成17)年9月27日～29日

国際展示場「東京ビッグサイト」(有明)

- 子ども連れ家族の来場が増えるなかで、点在している子ども向けの車いすや日常生活用品、学習機器やコミュニケーション機器など、見て、試せる製品を総合的に展示する「子ども広場」を設置し、移動などの負担の軽減をはかった。横浜市総合リハビリテーションセンターの協力のもと、機器の利用や療育などの相談や子育て支援のための情報提供を無料で行うコーナーも設置
- 福祉機器 選び方使い方セミナーに延べ3,037人が参加
- 来場者の利便のため、同年からりんかい線の「国際展示場駅」と「東京ビッグサイト会場」間でシャトルバスを運行、3日間で9,681人利用

主催 全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会
 来場者数 135,825人
 出展社数 630社：海外15か国1地域68社、国内562社
 ◆東展示場 1～6ホール



[第32回 ポスター]



国際シンポジウム

高齢者リハビリテーションの方向

ヨーロッパ3か国のリハビリ実情

日本では、2006(平成18)年度に向けて介護報酬改定の検討が進むなか、課題は介護予防やリハビリテーションのあり方であった。欧州3か国の実情報告は、日本の医療・介護におけるリハビリの役割を考察する機会となり、925人の参加があった

1. オランダ

高齢者の人口割合と労働人口、ヘルスケアシステムの概要、財政とコスト管理、リハビリテーションサービスの概要、リハビリテーションの専門家、将来の課題 など

ルック・ペ・デ・ウィッテ 氏

オランダ、iRv, institute for rehabilitation research



ルック・ペ・デ・ウィッテ 氏

2. ドイツ

年齢と認定介護率、老人医療リハビリテーションの概要、OT・PTの研修、長期介護の問題、虚弱の指標と治療 など

マルティン・ルンゲ 氏

ドイツ、Medical Director of Aerpah-Clinics Esslingen and Ilshofen



マルティン・ルンゲ 氏

3. デンマーク

ヘルスケアセクターの概要、リハビリテーションの専門職、リハビリテーションにおける市町村の責任、高齢者のリハビリテーションの概要、課題療法士の教育と訓練 など

グンナー・ガンボルグ 氏

デンマーク、President, The Danish Association of Occupational Therapists



グンナー・ガンボルグ 氏

チューター

石神重信 氏

日本リハビリテーション医学会常任理事



石神重信 氏

特別講習

「高齢者の食を考える」

高齢化社会にあって、「食」は健康で豊かな生活のために大切なことである。新たに高齢者の「食」を採り上げて講習会を開催し、「おいしく、簡単につくれ、美しい食事」をテーマとしての、朝昼晩のレシピや料理のポイントなどについての調理師による実演を交えた説明と、栄養士からのアドバイスも行った